

OnTime簡単インストール編

事前準備

本マニュアルはスタンドアロンサーバーでのインストールを想定しています。
Dominoが8.5.x以上でFPが当たっている。httpがセッション認証かSSOで動作していることを確認。

■ 1. ダウンロード

既にデスクトップの2016HandsOnフォルダにファイルを準備しています。ご利用下さい。

○ トライアルキーダウンロードページ

<http://ontimesuite.jp/try-it.php>

登録後にメールにトライアルキーがメール送信されてきます。

trialkey.txtを準備しています。

○ 最新プログラムダウンロードページ

<https://ontimesuite.jp/downloads.php>

登録後にダウンロードページのリンクがメール送信されてきます。

○ インストールマニュアル(PDFです)

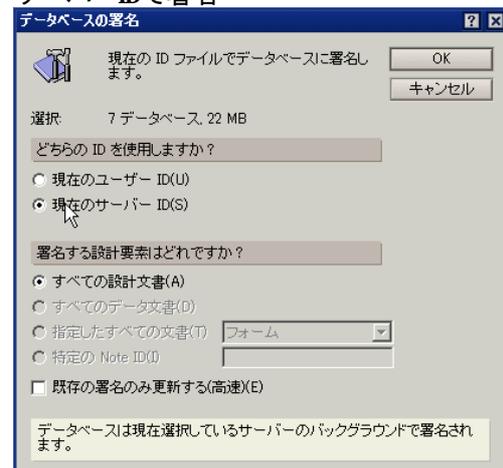
<https://ontimesuite.jp/download/OnTime-Server-Setup-Manual-160714.pdf>

■ 2. テンプレートのコピーとサーバーIDで署名

既にC:\Lotus\Domino\Data\OnTime502フォルダにテンプレートはコピーしています。

ontimegc.ntf
ontimegcclient.ntf
ontimegclog.ntf
ontimegcphoto.ntf
ontimegctimeoff.ntf
ontimegcbroadcast.ntf

サーバーIDで署名



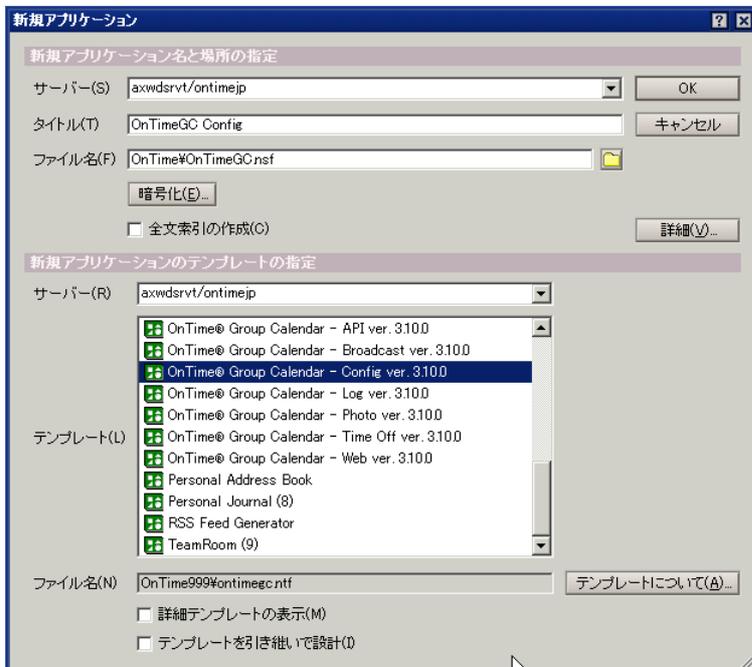
コンソールから以下を実行して署名。

tel adminp a

■ 3. ConfigDBの作成

データベース名: OnTime GC - Client (お好きな名前で大丈夫です)

ファイル名: OnTime\OnTimeGC.nsf

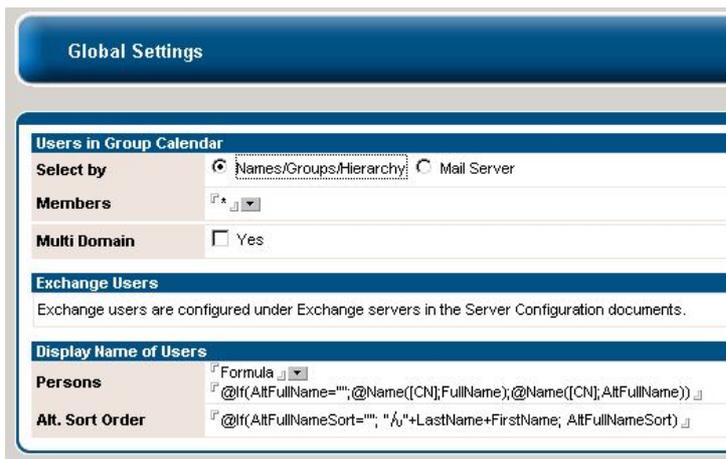


テンプレートを引き継いで設計にチェックが入らないように注意してください。

ライセンスキー登録

メニュー/アクション/1. Enter License Keyを選択します。

- 4. GlobalSetting文書をちょっとだけ設定して保存。



3つのフィールドに値をコピーしてください。

Display Name of Users- Persons

Formulaに切り替え

@If(AltFullName="";@Name([CN];FullName);@Name([CN];AltFullName))

Display Name of Users- Alt.Sort Order

@If(AltFullNameSort=""; "ん"+LastName+FirstName; AltFullNameSort)

画面左中段のDirectory of Template

OnTime502

Save&Closeを実行

- 5. ServerSetting文書をちょっとだけ設定して保存。
保存時について2つのサポートDBが作成されてます。

Synchronisation Server

Servers being monitored for synchronisation

どちらにもご利用のサーバー名を選択入力

nd901se/Lotuslab

URL

ブラウザで確認したURLを登録

nd901se.lotuslab.com

Launch in Notes

チェックを入れるとノート内で起動できます

Synchronisation Server Settings

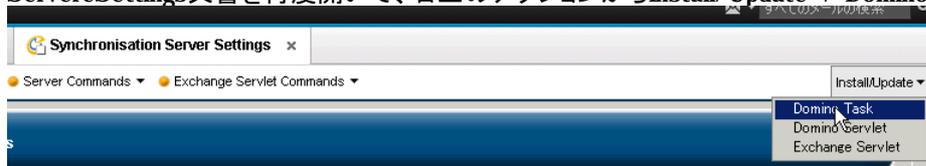
Synchronisation Server	axwdsrvr/ontimejp @ ontimejp
OnTime GC Admin Server	<input checked="" type="checkbox"/> Yes
Servers being monitored for synchronisation	axwdsrvr/ontimejp
Number of Threads per monitored server	3
OnTime GC Cluster name	OGCluster
Monitored servers excluded from update in personal mail databases.	
Database Blacklist (Excluded from the monitoring process)	

Client Database	Log Database
Filepath	OnTime\OnTimeGCClient.nsf <input type="button" value="Open"/>
URL	Log Level <input type="radio"/> No Log <input type="radio"/> Only Errors <input checked="" type="radio"/> Info Only <input type="radio"/> Extended
Database	Log db. filename
Servlet	Keep Entries
OnTime Token Timeout	
CORS Allow Origin	
Launch in Notes	
Users allowed to run 'OnBehalfOf'	
Instant Client Refresh	
URL	
Enable	

Save&Closeを実行

■ 6. OnTimeタスクのインストールと初期実行

ServerSettings文書を再度開いて、右上のアクションからInstall/Update / Domino Taskをクリックします。



そのまま放置してもメールDBとも同期(Sync)が始まりますが、今回は強制的に同期を開始します。ServerSettingsビューで該当するサーバーを選択しアクションのOnTimeGC Commands/Syncを実行します。



■ 7. 仕上げ

各DBのACLで利用ユーザーに「OnTime Users」と同じ権限があるか確認。
ワークスペースからOnTimeGCclient.nsfをダブルクリックで開きます。

Firefoxからは
<http://nd901se/Lotuslab/ontime/ontimegcclient.nsf>

OnTime簡単設定編

■A. 名前表記の変更 他 NameFormatとDefaultSetting

NameFormat文書作成(名前だけ指定して閉じた後、再度編集画面で開く)

● Save & Close ● Close

Name Format Configuration

Name	NihonGo (ID:)	
Languages		
Persons		
Line 1	Displayname	
Line 2	Department	
Line 3	Location	
Rooms		
Line 1	-Advanced-	%CommonName% (%Capacity%名)
Line 2	Site	
Line 3	Description	
Resources		
Line 1	Commonname (Category)	
Line 2	Site	
Line 3	Description	

Save&Closeを実行

DefaultSetting文書の編集(日本語用に変更して下さい)

Default Settings

Name	Default
Members	*

Settings

Global | Connections | Discovery | Mobile | Notes | TAAG | Web

Language	日本語
Region	日本語, International
Name Format	NihonGo
Sametime	<input type="checkbox"/> Enabled

Save&Closeを実行

Adminを実行

日本語関連のサンプル式は以下を参照して下さい。

<http://www2.ontimesuite.jp/category/djx/>

■B. 権限設定の確認 Users文書の確認とRoles文書の設定

Users文書はそのユーザーの

- ・プロフィール情報
 - ・メールDBのロケーション情報
 - ・Roles情報
 - ・各種メールプリファレンス情報
 - ・メールの代理アクセス情報
- が含まれています。

Roles文書は開くと下図のようになっています。

各項目については下表を参照してください。

Name	識別する為の名前。各User文書にもこの名前でも反映されます。
Disable	設定を一時的に無効にする場合はチェックを付けます。
Role Members	
Members	このRoles設定を利用する(クライアントで見る)側のユーザー・グループ
Members the Role has selected access to	
Create, Edit and Delete entries	この項目に登録されたユーザー・グループの予定を作成・編集・削除できます。
Change Out of Office	この項目に登録されたユーザー・グループの予定の詳細を参照するだけでなく「不在通知」を設定できます。
Create and Edit own Entries	会議室とリソースのために作成されたロールレベルです。予約を作成することと自身が作成した予約だけを編集出来ます。他人が作成した予定は編集も削除も出来ません。ターゲットとしてデフォルトで「*Rooms」と「*Resources」が設定されています。この2つのワイルドカードはロールのどの文書でも使用出来ます。
Read entries details	この項目に登録されたユーザー・グループの予定の詳細を参照出来ます。
View schedule information	この項目に登録されたユーザー・グループの予定の枠は参照出来ます。各予定の内容は見れません。ノーツの空き時間検索画面とよく似た設定です。

Extendedはそれぞれ除外するユーザーやグループを指定します。

今回は、全員が全員の予定を件名含め参照出来るように下図のように設定します。

Save&Closeを実行

Adminの実行

ロールについてはコンフィギュレーションマニュアルを参照して下さい。

<http://ontimesuite.jp/download/OnTime-Config-5.0.x-Manual-160714.pdf>

■C. 公開グループ作成 ファミリー名の一字目のグループを作成します。

Dynamic Display Group Configuration

Subject

Database Lookup

Server	<input type="text" value=" (Blank = same as this database)"/>	Title: ontimejp's Directory
Filepath	<input type="text" value="names.nsf"/>	<input type="button" value="Open"/>
View	<input type="text" value="\$Users"/>	<input type="button" value="Open"/>
Key	<input checked="" type="radio"/> Canonical Name <input type="radio"/> Abbreviated Name <input type="radio"/> Short Name <input type="radio"/> Email <input type="radio"/> Optional Unit (Example: CN=taro osaka/O=ontimejp)	
Data Type	<input type="radio"/> Field <input checked="" type="radio"/> Formula (advanced)	
Category	<input type="text" value="表示したいカテゴリ名を入力"/>	
Formula	<input type="text" value="ここにNotes式を記述"/>	

Filepath -> names.nsf

View -> (\$Users)

Key -> Canonical Name

Data/Type -> Formula

Data/Category -> “英語ヨミ”

```
rc:=@If(
Form = "Person";@UpperCase(@Left(LastName;1));
ResourceType = "1";"Room";
ResourceType = "2";"Resource";
ResourceType = "3";"Online";
"Other");
@If(
rc="Room";"- Others";
rc="Resource";"- Others";
rc="Online";"- Others";
@IsMember(rc;"A";"B";"C";"D";"E";"F";"G");"A-G";
@IsMember(rc;"H";"I";"J";"K";"L";"M";"N");"H-N";
@IsMember(rc;"O";"P";"Q";"R";"S";"T";"U");"O-U";
@IsMember(rc;"V";"W";"X";"Y";"Z");"V-Z";
"- Others")+"\\"+rc
```

Save&Closeを実行

Adminを実行

グループサンプルは以下を参照して下さい。

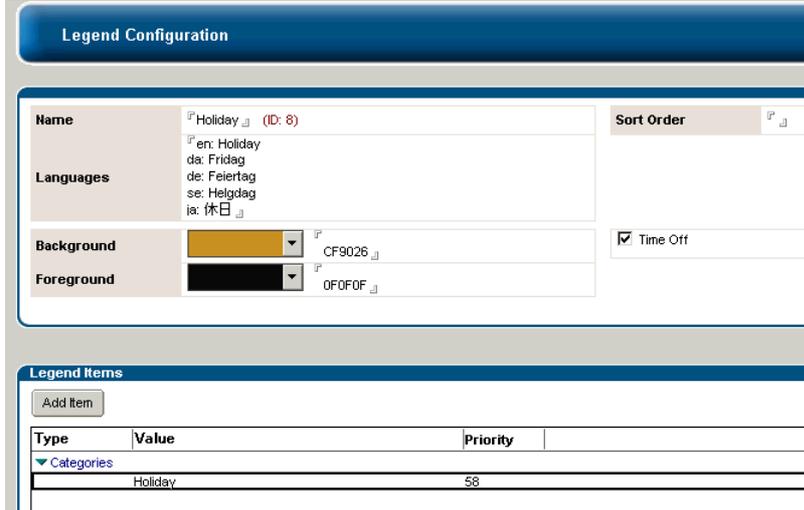
<http://www2.ontimesuite.jp/category/groups/>

■D. 凡例の変更 Legends

「Holiday」のLegend設定文書を開きます。



編集画面で開くと下図のように上段に各種設定、下段に埋込ビューで条件となるアイテムビューが確認できます。

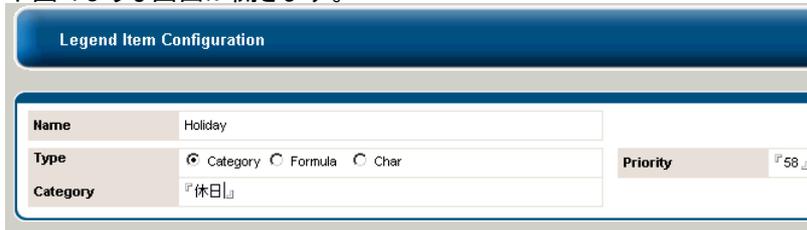


Languageに

ja: 休日

と日本語として「休日」という言葉を追加した後、埋込ビュー内の「Legend Item(条件)」を編集します。

下図のような画面が開きます。



今回は上図のようにTypeは「Category」のまま、値も「休日」とします。
凡例サンプルは以下を参照してください。

<http://www2.ontimesuite.jp/category/legends/>

スケジュールデータに影響を受けるので今回はFullSync。

一般的に各種設定変更時はAdmin、Sync、Adminを実行して下さい。
詳細は「OnTimeの保存複製競合の回避方法」を参照。

<http://ontimesuite.jp/download/conflict.pdf>

OnTime簡単内部理解編

■ α . OnTimeはあくまでも高機能タスクと高性能busytimeなDBで出来ている

肝はやはりスケジュールデータを集約して権限に応じて提供できる機能
それはOnTimeGCタスクとConfig(OnTimeGC.nsf)で実現。

予定作成機能やメール送信はあくまでもオマケで付いてるクライアントの機能
それはノーツの機能をイミテーションしているだけ。

ロジックや構成は以下のページを確認
<http://ontimesuite.jp/engine-room.php>

■ β . ドミノを知り尽くした設計思想に感動

DB更新検知関数の理解、ビューインデクサー、複数値などを十分に活用している。
現在はbusytime.nsfを使わずトラベラーと同じ関数ライブラリを使用。
予定が増えても複数値管理しているので文書数は増えないので負荷は変動しない。

サブレットによる高性能化と各種フェールオーバー機能と複数サーバー運用の実現方法
スタティックなデータはサブレットのオンメモリで補完。
タスクの死活監視を独自に行いフェールオーバー。
メールDBはレプリカIDでフェールオーバー。
負荷分散は複数サーバーでレプリカ運用。

機能一覧は以下のページを確認
<http://ontimesuite.jp/feature.php>

■ γ . あくまでもメールDBを使用するベース設計とAPIを準備した拡張性

メールDBを使用するからこそVerse(SCNotes)でそのまま利用出来る。
逆にクラウドでは他ユーザーのスケジュール参照機能がまだ実装されていない。
モバイル画面ではもう会議室とリソースを区別してアサインできていない。

Verseに対する対応については以下のページを確認
<http://ontimesuite.jp/about-verse.php>

REST接続によるAPIが夢を広げる。
LIVENESS Roomsというサードパーティー製品も日本にマッチ。
残業申請ワークフローと連動、スケジュールデータのアーカイブ。
Salesforce連携。カスタムフィールドによる拡張。

APIオプションに関する情報は以下のページを確認
<http://ontimesuite.jp/api.php>